

28年度
第1回 校内千鳥ラボ

地震を知ろう！



災害から命を守る備え ありますか？

～防災があたりまえの世の中へ～



2011年3月11日14時46分、震度9の超巨大地震が三陸沖・深さ24kmの海底で発生し、日本各地を津波が襲い、多くの方々が地震や津波災害に遭われました。地震発生から5年以上経過した現在でもなお、行方不明者の捜索や社会基盤の復旧作業が続けられています。そして、2016年4月14日21時26分震度7の巨大地震が熊本で発生しました。改めてこの震災で、被災された地域の皆さま、ご家族、関係者の皆さまに心からお見舞いを申し上げたいと思います。

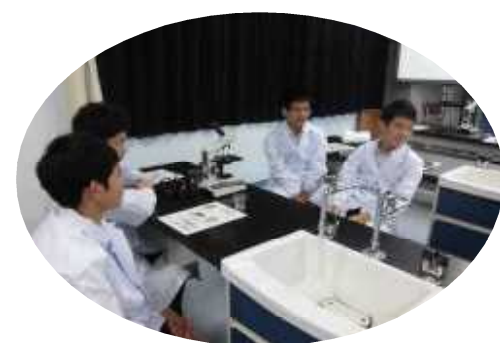


1995年1月17日兵庫県南部地震の発生前には、西日本は東京などに比べて大きな地震は少ないと思われていました。しかし、現在の報道などを見ると、これから数十年のうちに発生することが想定される南海地震に関して、

西日本は地震の活動期に入った、という論調すらあります。

笠岡高校でも、大きな災害が起こる前に、防災への意識を高め、グループで災害に関する知識をお互いに確認していけたらと考えています。

頭では理解していても、いざとなるとなかなか行動出来ないもの。
ではここで Q1:地震が起きたらまず、何をしますか。
Q2:非常時の備蓄品を3日分準備していますか。
Q3:避難場所を知っていますか。家族と会う場所を決めていますか。
防災食を試食しながら、「自然の恵みと災害」について知識を深めましょう。



下記日程で実施します。希望者は、時間割変更黒板に掲げている申込書に記入の上、理科の先生に提出してください。

理科の授業で、防災に関する調べ学習をした。次は、先生の発言と生徒の発表の様子の一環である。①～④に答えなさい。

先生 大きな災害が起こる前に、私たちは防災への意識を高め、情報を知り、準備しておく必要があります。今日までに、防災というテーマで調べ学習をしました。各組で調べた内容を発表してもらいます。それでは、A組からお願いいたします。

A組は、図1のような非常時の備蓄品について調べました。最も大切なものは水です。私たちは本としては生きていけません。私たちが、水分をとって、体内の有酸素物質を戻して体外に排出することが大切です。被災地では水分不足で体調を崩した人もいたと知り、水の大切さを改めて知りました。非常食として利用できる商品を探してみよう。非常食として利用できる商品を探してみよう。非常食として利用できる商品を探してみよう。非常食として利用できる商品を探してみよう。

非常時の備蓄品 最低3日分の備蓄品を用意 非常時対応 飲料水：1日1人3リットル 非常食：保存性が高く、調理が不要な調理や取り出しやすいもの

図1

記

十年生の人はどこかで見た問題ですよね、平成28年度入試の理科の問題です。



- 対象 1, 2年生希望者
- 日時 平成28年4月26日(火) 16時～17時まで
- 場所 生物第2実験室
- 準備物 筆記用具 (参加費は無料です)
- 申込締切日 4月21日(木) 昼食時まで 期限厳守